

令和4年度上半期執行状況を Check !!

財政執行状況とは、当初計画していた予算を今現在、どれくらい使っているかを示すものです。令和4年度上半期（令和4年4月1日～令和4年9月30日）の財政執行状況は、次のとおりです。

〔一般会計〕歳入

科目	予算現額	収入済額	収入率
市税	13 億 3,615 千円	8 億 8,694 万 4 千円	66.4%
地方譲与税	8,396 万 7 千円	1,933 万 8 千円	23.0%
地方交付税	39 億 8,670 万円	28 億 8,959 万 5 千円	72.5%
国庫支出金	18 億 3,861 万 4 千円	2 億 3,053 万 2 千円	12.5%
県支出金	8 億 1,490 万 5 千円	5,736 万 9 千円	7.0%
諸収入	2 億 7,995 万 5 千円	1,002 万 5 千円	3.6%
市債	7 億 2,223 万 7 千円	0 円	0.0%
その他	33 億 4,218 万 2 千円	10 億 370 万 9 千円	30.0%
合計	124 億 471 万円	50 億 9,751 万 2 千円	41.1%

〔一般会計〕歳出

科目	予算現額	支出済額	執行率
総務費	31 億 3,117 万 1 千円	6 億 8,245 万 6 千円	21.8%
民生費	32 億 8,050 万 9 千円	11 億 7,505 万 9 千円	35.8%
衛生費	11 億 967 万 4 千円	3 億 4,680 万 4 千円	31.3%
農林水産業費	9 億 5,238 万円	4 億 4,470 万 8 千円	46.7%
土木費	6 億 3,296 万 3 千円	1 億 2,449 万 8 千円	19.7%
消防費	5 億 1,936 万 5 千円	1 億 8,634 万 1 千円	35.9%
教育費	8 億 148 万 2 千円	3 億 4,647 万 6 千円	43.2%
公債費	10 億 7,879 万 5 千円	5 億 3,728 万円	49.8%
その他	8 億 9,837 万 1 千円	2 億 7,765 万 3 千円	30.9%
合計	124 億 471 万円	41 億 2,127 万 5 千円	33.2%

※支出済額は、発注済額、契約済額とは異なります。

〔特別会計〕歳入・歳出

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険特別会計	24 億 3,826 万 2 千円	8 億 2,444 万 2 千円	33.8%	8 億 5,337 万 5 千円	35.0%
交通災害共済特別会計	494 万 2 千円	731 万 7 千円	148.1%	135 万 1 千円	27.3%
地方卸売市場特別会計	351 万 1 千円	168 万 3 千円	47.9%	236 万 2 千円	67.3%
老人保健施設特別会計	6 億 5,290 万 1 千円	1 億 2,249 万円	18.8%	3 億 2,510 万 4 千円	49.8%
漁業集落排水処理施設特別会計	4,220 万 4 千円	309 万 9 千円	7.3%	1,374 万円	32.6%
介護保険特別会計	24 億 5,701 万 4 千円	11 億 1,303 万 5 千円	45.3%	8 億 6,622 万 8 千円	35.3%
簡易水道事業特別会計	5,893 万円	680 万 1 千円	11.5%	1,795 万 8 千円	30.5%
後期高齢者医療特別会計	2 億 6,277 万 3 千円	6,469 万 1 千円	24.6%	6,013 万 5 千円	22.9%

※支出済額は、発注済額、契約済額とは異なります。

財政力指数は、地方自治体の「**財政力**」を示す**指数**で、基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値の3カ年の平均値です。この指数が高いほど財政力が強く、低いと国への依存度が強いことになります。

垂水市は、県内類似団体に比べ低い数値となっており、自主財源の確保や市税等の収納率の向上などによ

概要

9 財政力指数

数値が大きいほど良い

昨年度と同値

経常収支比率は、数値が高いほど、臨時的支出に回すお金が乏しい状態を示します。人件費や扶助費、公債費（借入金返済）など毎年支出しなければならぬ経費に、地方税や地方交付税などの一般財源収入をどれだけ充てているかを示す指数です。

令和3年度は88・7％となり、前年度（92・8％）より4.1％好転しました。**〔表13〕**

概要

8 経常収支比率

数値が小さいほど良い

昨年度より4.1％好転

最後に

〔表14〕

市民の皆様や議会の協力の下、歳入・歳出の徹底した見直しを進め、人件費の抑制や市債残高の削減などの財政改革の成果により、財政状況は好転しつつありますが、地方交付税・国庫支出金などの依存財源が歳入の65・7％と高い割合を占めていること、財政力指数が県内類似団体平均より低迷していることなどから、まだまだ厳しい状況にあるといえます。

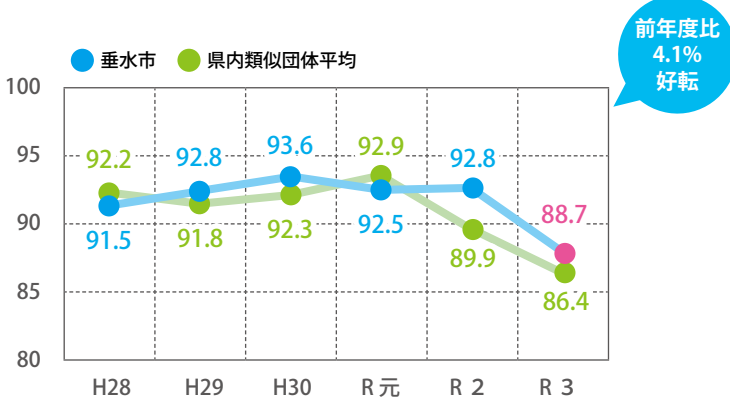
さらに今後は、公共施設の老朽化に伴う維持補修費等の増加や社会保障費の伸びによる繰出金などが大きな負担となる見込みです。

今後も引き続き、行財政改革を継続し、歳入に見合った歳出の適正化を図り、健全な財政運営に努めてまいります。

今年度上半期の執行状況も見てね！

〔表13〕経常収支比率の推移

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
垂水市	91.5	92.8	93.6	92.5	92.8	88.7
県内類似団体平均	92.2	91.8	92.3	92.9	89.9	86.4



〔表14〕財政力指数の推移

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
垂水市	0.27	0.29	0.30	0.30	0.30	0.30
県内類似団体平均	0.36	0.36	0.37	0.37	0.37	0.36

